

# 生殖補助医療の保険適用化にむけた医療経済学的検討に対するご

## 協力をお願い

研究代表者 所属 埼玉医科大学産婦人科  
職名 准教授  
氏名 左 勝則

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録・生殖に関する諸登録・婦人科腫瘍登録）を用いた下記の医学系研究を、埼玉以下大学倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1 対象となる方

日本産科婦人科学会 ART 登録データベースに登録された治療周期のうち、2007年1月1日から

2021年6月30日までに登録された治療周期を対象とします。

### 2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 大 2021-016

研究課題名 生殖補助医療の保険適用化にむけた医療経済学的検討

### 3 研究実施機関

<研究責任者>

埼玉医科大学 産科婦人科 准教授 左 勝則

<研究協力者>

埼玉医科大学 産科婦人科 教授 石原 理

秋田大学 公衆衛生学 准教授 前田 恵理

慶應義塾大学 経営管理研究科 / 健康マネジメント研究科 教授 後藤 励

#### 4 本研究の意義、目的、方法

日本では晩婚・晩産化とともに生殖補助医療（ART）を含む不妊治療のニーズが急速に拡大しています。ART を含む不妊治療は医療保険の対象外であるため、治療費が高額にのぼることから、国は2004年から「不妊に悩む方への特定治療支援事業」による治療費用の一部を補助してきました。ART治療周期数の増加に伴い助成金の支給数も増加し、2017年には14万件近くの助成制度の支給実績が報告されています。

助成制度が拡充されARTにより生まれる子供の数が増える一方で、少子化に歯止めがかかっていません。日本の合計特殊出生率は2015年に1.45となった以降、晩婚化や育児と仕事の両立の難しさなどが影響し、再び低下基調にあります。低迷する出生率を受けて、政府は来年度から不妊治療の保険適用化を閣議決定し、2021年1月からは助成制度も時限的に所得制限が撤廃され、助成額も大幅に増額されました。

来年度の不妊治療の保険適用への以降に向けて、現行の助成制度から保険適用された際の全体として治療費がどの程度にのぼるかを試算することは大変重要と考えられますが、そのための資料は限られています。特に日本では、自費診療のもとで患者の自己負担の少ない内服薬による排卵誘発方法や自然周期採卵が発展してきた経緯があり、これら比較的安価な排卵誘発が全採卵周期の実に4割を占めます。治療費用の多くを占める排卵誘発のコストを排卵誘発方法別に試算することが必要不可欠と考えられますが、過去にそのような試算をした例はありません。

そこで本研究では、ART登録データベースに登録された治療周期を対象に、生殖補助医療が保険適用された場合の、総額としての国の助成額全体がどの程度になるかを試算することを目的としています。

#### 5 協力をお願いする内容

ART登録データベースに登録された治療周期を対象に、生殖補助医療が保険適用された場合の国の医療費がどの程度になるかを試算することを目的としています。試算を行うために排卵誘発方法、内膜調整方法、受精方法、胚移植の有無、生児をえたかどうかなどの情報を使用させていただきます。

#### 6 本研究の実施期間

2021年10月11日～2024年10月30日

#### 7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切

わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者

埼玉医科大学病院 産婦人科 左 勝則

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

TEL : 049-276-1347

FAX : 049-294-8305

E-mail: [jwa\\_s@saitama-med.ac.jp](mailto:jwa_s@saitama-med.ac.jp)